

社会事業調査資料文献概要

「戦前日本社会事業調査資料集成」別巻 全1冊

社会福祉調査研究会 編 [発売元・大空社出版]

戦前期(明治後半期～1945年)になされた社会事業(社会福祉)

調査資料文献、約1300点の概要をまとめた待望の書。

今日的〈課題〉解決のために有益かつ有効な膨大な資料群への

最良の手引き、必読・必携の書!

A5判・上製・約1250頁

本体38,000円+税
(予価)

本書は同研究会編『戦前日本社会事業調査資料集成』全10巻(勁草書房1986-95)の「別巻」です。「補巻(災害救助)」(2017)に続きシリーズ完結となる書です。シリーズご所蔵機関にはぜひお備えください。

各「文献概要」の内容(項目)

①資料の概要 ②資料の特徴 ③調査の概要 ④調査(または資料)の内容 ⑤集計の特徴 ⑥資料の所蔵 ⑦備考

分類区分一覧(全)

貧困・困窮者/救済・保護・救護
浮浪・ルンペン・乞食・行路病者
木賃宿/無料・簡易宿泊所宿泊者
屑拾い・バタヤ/残飯・残食物
水上生活者(水上児童含む)
貧民窟・スラム・不良住宅地区
不良住宅地区改良事業と改良後の生活・
居住状況
住宅困窮・住宅難/家賃問題
公営住宅・同潤会住宅(公的住宅)
生計・家計状態
救済/軽費・実費診療/済生会
震災など災害救助
凶作
産業災害・鉱工業災害/戦争災害
軍事援護/傷病者・遺家族対策
軍事徴用・労務動員
職業紹介事業/職業補導
失業問題・自由労働者
職業婦人・婦人労働者
物価騰貴と米騒動
経済保護事業一般
公設市場
公設・公的質屋
公設食堂/公衆浴場
内職・副業
授産事業・授産施設
隣保事業・セツルメント/方面館・市民館

農村社会事業(漁山村含む)
乳児死亡/出生・死亡状況
妊産婦・母子保健/乳幼児保健
児童の生活状況・実態/児童問題
児童保護事業(施設)行政・活動
児童相談/一時保護施設
児童遊園・児童公園
欠食児・栄養不良/給食・栄養補給
病虚弱児・病虚弱児施設
障害児・障害児施設
保育・託児(常設)
子守学校/工場鉱山の保育
季節(農繁期)保育・託児
棄児/児童虐待/親子心中
児童養育・育児施設(孤児院・育児院)
昼夜乳児保育(乳児院)
里子・里親/家庭養育委託
貧児教育、不就学・長欠/就学奨励
児童労働・児童の就業状況
小卒児童の就職状況・就職対策
少年職業紹介・就職後指導
不良児童・非行少年問題一般
感化院・少年教護院/感化事業
少年院・少年審判院/保護少年
幼年監獄・少年受刑者
母子保護/母子ホーム(父子含む)
子守・女中・家政婦
桂庵・口入/娼妓斡旋・紹介

人身売買/身売/婦女出稼
娼婦・芸娼妓/公娼廃止運動
養老事業・養老院
障害(不具廃疾・失明)者/啓成社
精神病者・同療養所
ハンセン氏病(癩病)者・同療養所
結核患者・同療養所
花柳病・性病/同対策
麻薬など薬物中毒者
出獄人・免囚保護/司法保護事業
朝鮮人(内地居住の)
社会保険(健保・年金問題)
社会事業(施設)一覧・名鑑(全国・地域)
社会事業概況・概要・要覧(全国・地域)
社会事業都市比較/都市社会行政
社会事業統計・調査資料
社会事業行財政
社会事業(施設)の奨励助成
社会事業の委員(方面委員・救護委員)
社会事業(施設)の連絡団体
社会事業(施設)の実況調査/視察報告/
年表
社会事業(施設)の経営・資産
社会事業(施設)の入所・利用者/処遇
社会事業(施設)職員/功労者
社会事業(施設)の職員養成
その他総合・全般
戦時体制下の社会事業の変容

本文見本

(縮小)

一般災害 7・大震災と社会事業(大正15、未公刊)より

- 2,500円00銭
- (15) 現況
- 大正十四年九月十五日旧所ヨリ移転シ日尚浅キ為諸立セズ現在(十五・二・二四)収容人員十七名園人ヲ求メラレ成績ノ良好ナルモノヲ奉公セシムル教練、娯楽、野球、遠足、フットボール、ランニ
- [007] 浅草観音浅草寺病院
- (1) 名称
浅草観音浅草寺病院
- (2) 代表者職氏名
浅草寺住職 救護榮海
- (3) 事務所所在地
本部：浅草公園浅草寺社会部内 支部：浅草公園弁
- (4) 事業施行地
浅草公園地第二区弁天山下
- (5) 創立年月日
明治四拾参年八月十五日
- (6) 組織
個人経営
- (7) 目的及事業ノ種類
目的：治病起信
事業ノ種類：細民救済事業
- (8) 大震災災二因ル損害
・建物 全焼：三棟二十八坪 損害見積額：8,600円
・什器其他 全焼：全部 損害見積額：約5,000円
・計 損害見積額：13,600円

調査箇所	芝公園	宮城公園	日比谷公園	上野公園
戸数	四三	一三	一	一
芝	三八	一	一	一
麻布	一	一	一	一
四谷	一	一	一	一
神田	一	一	一	一
本郷	一	一	一	一
下谷	一	一	一	一
浅草	一	一	一	一
本所	一	一	一	一

(一) 慰問

精神的慰問

二、慰問及調査諸項並に其区域と日程

凡そ、貧苦欠乏を救済するには、物資を以てすべきは言ふまでもないが、精神的指導救済も亦欠くべからざる一面である。況や今回の様な、突如急激の間に生じた異常の変異災厄が人心に一大衝動を与へた場合には殊に然りである。然るに多くの場合に於いて、此の方面がいつも忽諸「マゴ」に附せられるのは誠に遺憾な事である。而して彼らに接することは一面又、罹災当事者より見たる諸般の希望、批判、観察等彼等の心理状態の一斑をも窺ふ事が出来るから、以て正鵠適切なる対策の資料を見出す事も出来やう。

即ち斯うした両面の意味を持って、主として婦人事務員をして精神的慰問をなし、兼ねて諸項の調査をすすめた次第である。

一、序言

罹災者「バラック」生活実情調査

(本文)

(二) 調査

(一) 食料

(二) 住居

(三) 衛生

(四) 復興に対する方針

(五) 最も困難とする事項

(六) 救済に対する所感

(七) 通信

(八) 衣服

(九) 光熱水道

(一〇) 救済に対する所感

(一一) 救済に対する所感

(一二) 救済に対する所感

(一三) 救済に対する所感

(一四) 救済に対する所感

(一五) 救済に対する所感

(一六) 救済に対する所感

(一七) 救済に対する所感

(一八) 救済に対する所感

(一九) 救済に対する所感

(二〇) 救済に対する所感

(二一) 救済に対する所感

(二二) 救済に対する所感

(二三) 救済に対する所感

(二四) 救済に対する所感

(二五) 救済に対する所感

(二六) 救済に対する所感

(二七) 救済に対する所感

(二八) 救済に対する所感

(二九) 救済に対する所感

(三〇) 救済に対する所感

(三一) 救済に対する所感

(三二) 救済に対する所感

(三三) 救済に対する所感

(三四) 救済に対する所感

(三五) 救済に対する所感

(三六) 救済に対する所感

(三七) 救済に対する所感

(三八) 救済に対する所感

(三九) 救済に対する所感

(四〇) 救済に対する所感

(四一) 救済に対する所感

(四二) 救済に対する所感

補一11-(2) 各道府県の罹災救助基金現在高の推移(1918~39年度) その①(北海道~埼玉)

- *1. 本資料(補11-(2)は、以下に示す典拠文献から、罹災救助基金法による各道府県の罹災救助基金の現在高(積立額)の推移を見たものである(金額は千円単位に簡略化)
- a: 帝国統計年鑑(刊行回数) b: 内務省統計報告(刊行回数)
- c: 社会事業統計要覧(刊行回数、当初のものは調査年) d: 日本社会事業年鑑(刊行年次)
- *2. なお、ここに示した以外の時期(年度)については、残念ながら当該典拠文献では得られず、その数値(→)

時期/年度—典拠文献	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉
1918/大7—b 34#	802	561	751	719	795	797	709	1150	915	895	1346
1919/大8—b 33#	885	587	755	748							
1920/大9—b 35#	995	614	767	779							
同—c 要覧大9※	1021	610	765	776							
1921/大10—b 36#	1101	630	769	728							
1922/大11—b 37#	1153	650	797	759							
同—b 38※、c 統覧11※	1162	660	784	753							
1923/大12—b 39※、c 統覧12※	1152	690	806	787							
1924/大13—b 40※、c 7※	1197	719	822	819							
1925—a 47※、b 41※、c 8※	1202	718	845	859							
1926—a 48※、b 42※、c 9※	1270	744	872	898							
同—c 6※	1317	720	882	905							
1927/昭2—a 49※、b 44※	1326	780	882	950							
1928/昭3—b 44※	1386	808	914	985							
1929/昭4—a 50※	1475	837	953	1008							
同—b 43#	1449	820	965	1036							
同—b 44#	1438	837	945	1005							
同—c 9※、c 10※	1370	820	945	1007							
1930/昭5—a 51※	1374	870	976	1062							
同—b 45※、c 11※	1373	862	912	1062							
1931/昭6—a 52※	1423	910	974	1117							
同—b 46※、c 12※	1485	1075	934	1118							
1932/昭7—a 53※	1194	771	957	1176							
同—b 47※	1206	817	918	1246							
同—c 11※	1156	847	940	1250							
1933/昭8—a 54※	751	686	486	1124							
同—b 48※	746	687	486	1180							
同—c 12※	717	683	971	1193							
1934/昭9—c 55※	764	583	503	1126							
同—b 49※	713	762	483	1125							
同—c 13※	709	659	464	1199							
1935/昭10—a 56※	864	583	560	1106							
同—c 14※	812	608	508	1041							
1936/昭11—a 57※	813	543	559	1080	1000	1413	1187	1809	1745	1449	2390
同—c 15※	736	566	515	1114	1045	1438	1214	1663	1850	1475	2492
1937/昭12—d 13※	865	552	571	1128	1037	1461	1197	1915	1749	1504	2489
1938/昭13—c 16#	990	559	559	1166	1060	1518	1207	1938	1818	1438	2518
同—c 16※、d 14・15※	937	580	595	1205	1060	1438	1184	1702	1671	1526	2557
1939/昭14—d 14・15#	1107	569	565	1136	1057	1518	1204	1720	1671	1460	2404

373 罹災救助基金法施行関係資料

[456]

罹災救助基金法関係 11.(1) (1931 頃、未公刊) より

は位牌計を膝に挟んで売れる又は売尽して立退いた破家の内を窺いた時の感情である

●落葉にまじる村時雨

橋れむき見童の一群は我等の一行の眼前に達つて殊に注意を惹起し



(一の其) 現狀品物散置の市本るけ給に後直災大東関



(二の其) 現狀品物散置の市本るけ給に後直災大東関

65 罹災救助基金収容所概観



265 飢毒地の惨状 第一編

産業災害 鉱毒地の惨状(明治35)より